

イノシシが中歌の海岸に漂着

Koho - kenbunroku



先日、中歌（元浦2区）の海岸にイノシシが打ち上げられました。北海道で生息が確認されていないイノシシが、瀬棚の海岸に打ち上げられたというのは大変不思議なことです。打ち上げられたイノシシの体長は約1.8mで体重は約220kgもあつたということです。珍しいケースなので頭部のみを標本にすることができないか検討もしましたが、実際に処理できる方がいないことから、このイノシシは漂着物として処理されました。

編集後記

表紙の写真は、小学校の雪山づくりでソリの試走を行っていた2人を激写したものです。体に似合わない「小さなソリ」に振り落とされそうになりながらも一生懸命滑り降りる姿は、「楽しそう」というか「必死」な感じがしてなんとも言えない1コマになりました。子どもの頃もこんな風に遊んでいたのでしょうか？変なところを写してしまってスイマセンでした(笑) 今回は特区についてご紹介しましたが、瀬棚町が申請した「有機酪農と有機農業の推進特区」が認定されると、北海道で初めて株式会社の農業参入が可能になります。これを洋上風車などとあわせ、瀬棚町が進める循環型のまちづくりの起爆剤としてうまく活用していきたいですね！（尾）